

高等部棟増築工事の進捗状況 No.5

高等部棟増築工事は、令和6年8月の完成に向け、順調に工事を進めているところです。

鉄筋コンクリート造の建物を建てる時は、まずは鉄筋を加工して組み合わせ、その周りを囲むように型枠を組み上げ、そこにコンクリートを流し込んで建物の土台となる躯体を造り上げていきます。

1月16日には、組み上げた型枠にコンクリートを流し込む作業が行われました。当日は、工場で作られた生コンクリートを工事現場まで運ぶミキサー車が1日で約80台学校に入校しました。10分に1～2台の頻度でミキサー車の出入りがあり、また、コンクリートの流し込み作業は、コンクリートが固まるため、途中で工事を中断することができません。そのため、保護者等の送り迎えや来校者の方々に御迷惑をお掛けしましたが、無事に約640トンのコンクリートを型枠の中に流し込むことができました。御協力に感謝いたします。

コンクリートの流し込み作業を、本校の高等部の生徒が、既存校舎のベランダから見学をしました。生徒は、工事の機械の大きさに驚きながらも、普段見ることができない工事を興味深く見学していました。

工事期間中は、車両の乗り入れ等において、今後も御迷惑をお掛けすることがあると思いますが、事故等がないよう細心の注意を払いながら工事を進めてまいりますので、引き続き御理解と御協力をお願いします。

(コンクリート流し込み作業の状況)



(現況 (R6.1.16 撮影))

